



2018年5月2日

各 位

会 社 名  **太陽ホールディングス株式会社**

代表者名 代表取締役社長 佐藤 英 志
(コード番号 4626 東証一部)

問合せ先 執行役員管理本部長 尾 身 修 一
(TEL 03-5953-5200 (代表))

特別損失の計上及び 2018年3月期通期業績予想と決算値との差異に関するお知らせ

当社は、2018年5月2日開催の取締役会において、下記のとおり特別損失の計上を行うとともに、2018年2月2日に開示した2018年3月期の通期連結業績予想と本日公表の決算値に下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上及び内容について

次のとおり特別損失を個別決算において4,174百万円、連結決算において3,278百万円を計上いたします。

(1) 関係会社株式の評価損（個別）

台湾の税制改正により、2018年12月末をもって、過年度に配当せずに留保してきた利益剰余金を配当した際の税額控除が認められなくなることを鑑み、当社の台湾の連結子会社である永勝泰科技股份有限公司（以下、OTCという）は、留保してきた利益剰余金を2018年3月にまとめて配当しました。

この配当による純資産の減少、および、直近の事業計画をもとにOTCの実質価額を算定した結果、「金融商品に関する会計基準」に基づき、当社が保有するOTC株式について、関係会社株式評価損4,174百万円を計上いたします。

(2) のれんの一時償却（連結）

個別決算における関係会社株式の評価減に伴い、「連結財務諸表における資本連結手続きに関する実務指針」に基づき、OTCの株式を取得する際に発生したのれんを一時償却し、のれん償却額3,278百万円を計上いたします。

2. 2018年3月期通期連結業績予想と実績との差異について

2018年3月期通期連結業績予想と実績との差異（2017年4月1日から2018年3月31日まで）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	51,300	10,800	10,700	7,600	263.81
今回発表実績（B）	52,241	11,337	11,199	4,856	168.55
増減額（B - A）	941	537	499	△2,744	
増減率（％）	1.8	5.0	4.7	△36.1	
（ご参考）前期実績 （2017年3月期）	47,866	9,221	9,202	6,398	266.46

差異の理由

当初計画より需要が上回ったこと、及び、新規事業である医療・医薬品事業の業績を含めた結果、売上高、営業利益、経常利益は、前回発表予想を上回りました。一方「1. 特別損失の計上及び内容について」に記載のとおり、のれんの一時償却額3,278百万円を特別損失に計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想を下回りました。

以上